

平成9年度第1回幹事会報告

平成9年4月17日

淀川キリスト教病院オリーブ棟会議室

[報告・協議事項]

事務局(総務・会計・企画): ①入会、会員異動の報告、別掲参照。②総務・会計・企画からの連絡事項: 新役員委嘱願いの発送 ③中嶋和子氏より阪神・淡路大震災の記録刊行物の受入れリストが報告された。まとめて、会誌『病院図書室』誌上で紹介するように依頼。④サンメディアKKと総合目録編集発行について文書での契約取交わし(97/4/1) ⑤VMLの稼動状況報告 ⑥第3回近畿地区医学図書館協議会シンポジウム実行委員に田中文字氏を選出。

研修部: 第82回研修会(研究事例報告会)への参加者30名。新入会会員については、相互貸借および協議会活動全般を把握してもらうための研修会参加の義務化について提案が出された。

会誌編集部: 編集体制では2班編成に、方針ではニューメディアを積極的に扱う、英文目次の掲載などの他、会誌17(1-4)'97の企画案が提出された。会計報告。

目録編集部: データ入力の方法について問合せが多数あった。

[決定事項]

(1) 幹事役割分担について (○印は幹事)

事務局: 総務/○山崎捷子 会計/○松本純子
企画/ ○首藤佳子

研修部: ○田中文字子 ○木下久美子 ○山室真知子 林伴子 重富久代 徳田雅子

会誌編集部: ○前田元也 大橋真紀子 須井麻由美 中嶋和子 浜口恵子 堀江亜由美 松原康子 森川治美

統計調査部: ○木下久美子

目録編集部: ○山室真知子

共同事業担当: 大橋真紀子(インターネット)

○首藤佳子(図書館員認定制度)

(2) 会計処理の効率化を図るため、各事業部ごとに会計担当を置き、事業部ごとの出納管理をおこなう。幹事会で協議会会計へ報告することにする。

— 新入会員 —

(14002) 神奈川衛生学園専門学校
〒250 神奈川県小田原市南鴨宮2-35-4
Tel. 0465-48-3929 Fax. 0465-47-9828
施設長: 後藤修司
担当者: 瀬戸嘉枝(専任)

(27041) 市立堺病院
〒590 大阪府堺市南安井町1丁1番1号
Tel. 0722-21-1700 Fax. 0722-25-3308
施設長: 木谷照夫
担当者: 田中典子(専任)

(27042) 東大阪市立中央病院
〒577 東大阪市御厨南 2-3-1
Tel. 06-781-5101 Fax. 06-781-2194
施設長: 房本英之
担当者: 辻村美代子(兼任)

(23012) 西尾市民病院
〒445 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地
Tel. 0563-56-3171 Fax. 0563-56-8966
施設長: 野田哲
担当者: 浅井裕子(兼任)

— 会員名簿訂正 —

日本赤十字愛知女子短期大学
施設名: → 日本赤十字愛知短期大学
施設長: 掘場希次 → 村地俊二
松阪中央総合病院
電話番号変更: → Tel. 0598-21-5252
Fax. 0598-21-9555(図書室直通)
岸和田徳洲会病院
Fax番号変更: → Fax. 0724-37-7395

藍野学院短期大学図書館

Fax番号変更：→ Fax. 0726-27-3355
(図書室直通)

近森病院

Fax番号変更：→ Fax. 0888-71-7289
(図書室直通)

市立岸和田市民病院

住所変更：→ 〒596岸和田市額原町2番地
電話番号変更：→ Tel. 0724-45-1000(代)
Fax. 0724-41-8812
担当者：浅野育子

松山赤十字病院

施設長：桑島恵一 →白石恒雄
電話番号変更：→ Tel. 089-924-1111
Fax. 089-926-9584

西宮市立中央病院図書室

阪神淡路大震災

—記録刊行物受入リスト—

- 1) 鐘紡記念病院誌—阪神大震災特集(臨時増刊号) 1995 鐘紡記念病院
- 2) メディカル朝日—阪神大震災の反省と課題 1995.6 朝日新聞社
- 3) 大震災における公衆衛生活動 1995.6 大阪大学医学部公衆衛生教室
- 4) 阪神大震災における外傷治療上の問題点 1995.7 特別研究会
- 5) 災害医療 阪神・淡路大震災の記録—被災地の命はどう守られたか— 1995.9 薬業時報社大阪支局編集部
- 6) 復興に向けて—阪神淡路大震災の記録1995 1995.9 西宮市
- 7) 兵庫医科大学医学会雑誌—阪神大震災の記録— 1995 兵庫医科大学医学会
- 8) 神戸市立病院紀要—この震災での体験・教

- 訓・今後の対策— 1996.1 神戸市衛生局
- 9) 阪神・淡路大震災における産業保健実態調査報告 1996.1 労働福祉事業団兵庫産業保健推進センター
- 10) 阪神・淡路大震災救援活動報告書 1996.2 大阪大学医学部附属病院
- 11) 震災と医療—阪神大震災の記録— 1996.3 兵庫県医師会
- 12) 阪神・淡路大震災と一年間のあゆみ 1996.3 神戸市中央区医師会
- 13) くすのきが震えた!—阪神・淡路大震災を乗り越えて 障害者からのメッセージ 1996.3 西宮市国際障害者年推進協議会
- 14) 阪神・淡路大震災 被害実態等調査報告書 1996.3 西宮市
- 15) われわれの記録—兵庫南部地震 1996.3 西宮市医師会
- 16) 救急医療と市民生活—阪神大震災とサリン事件に学ぶ 1996.7 杉本佩
- 17) 阪神・淡路大地震におけるヘリコプターを用いた障害者の搬送—その実態と評価— 1996.8 阪神淡路大震災におけるヘリコプター運用の実態調査委員会
- 18) 阪神・淡路大震災に係わる初期救急医療実態調査班研究報告書 1996.10 大阪大学医学部救急医学
- 19) いのちとくらしを守って—阪神・淡路大震災日本共産党の活動記録— 1996.10 日本共産党西宮会員団
- 20) つちおと—阪神・淡路大震災における西宮市役所<土木会>232名の活動記録— 1996.11 西宮市
- 21) 1995.1.17阪神・淡路大震災—西宮の記録 1996.11 西宮市
- 22) 阪神・淡路大震災—宝塚市の記録—1995 1997.3 宝塚市
- 23) 阪神・淡路大震災 余震の中で—京都民間医療ボランティアの46日— 1995 東灘小学校医療救護班
- 24) 阪神・淡路大震災 消防活動の記録 1997 宝塚市消防本部